

Support

新潟市教育委員会
学校支援課だより

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

No. 9

平成21年12月18日

編集・発行

学校支援課 広報担当

新教育課程編成・実施に向けて

新学習指導要領の全面実施に向け、各学校でご確認ください。

○ 全面実施に円滑に移行できるよう、移行期間中の指導計画を作成します。

- ポイント
- ・ 移行期間中に追加する内容を適切に指導する。
 - ・ 移行期間中の年度ごとに示された標準授業時数を確保する。
 - ・ 知識・技能を活用する学習活動、言語活動の充実を図る。
 - ・ 補助教材冊子を用いて確実な指導を行う。(算数・数学、理科)
 - ・ 外国語活動の実施に向けて計画的な準備を進める。

「総合的な学習の時間」に行われる『国際理解に関する学習』において、外国語を用いる活動は可能です。しかし、単なる外国語の学習や新学習指導要領に示されている「外国語活動」の目標や内容に即した学習を行うことはできません。

複数の学年の目標及び内容をまとめて示している教科等については、新学習指導要領が全面実施された際の指導内容を見通した上で、移行期間中の指導内容を適切に作成することが必要です。特に移行期間最終年度と本格実施初年度の接続に留意してください。

授業改善フォーラム2010～新潟市の目指す子どもの姿を求めて～

平成22年1月25日(月)

新潟市学力向上委員会

会場

黒崎市民会館

10:00～16:20

(受付9:30～)

新潟市の目指す「確かな学力を身に付けた子ども」を育成するための指導主事による提案授業を実施します。

提案授業A 小学校 算数

諸橋 智 指導主事 山田小学校5年生

提案授業B 中学校 国語 (VTR)

真田 節子 指導主事 黒崎中学校2年生

国立教育政策研究所
学力調査官による講演

小学校算数 銀島 文先生

中学校国語 杉本直美先生

今年度の全国学力・学習状況調査を作成した方々です。

参加者

校・園の研究主任(小学校の算数主任、中学校の国語主任)及び希望者(各校3名まで)

問い合わせは、学校支援課 齋藤純一指導主事まで

025-226-3263

文部科学省指定 人権教育研究発表会

県内外より300人を超える
参加者がありました。

新津第五中学校 実施日 平成21年11月13日(金)

<授業公開>

1学年 保健体育「ストレスと上手に付き合おう」
道徳「人の値うち」(生きるⅣ)
学級活動「取組の成果を確かめよう」
社会「中世の差別の起源を学ぶ」

2学年 総合的な学習の時間「平和学習のまとめをしよう」
「戦争」や「平和」についての追究活動の成果の発表や話し合い、ディベート等を行いました。

3学年 学年活動「GIPの成果を交流しよう」～いじめゼロスクールを目指して～
各学級での取組の成果を発表し合い、学年としていじめ根絶の気運を高めました。

(GIP・・・五中いじめ問題対策プロジェクトの略)

<講演会>

講師 山口県人権啓発センター事務局長 川口 泰司さん

演題「差別っていったいなんやねん?～もっとホンネで、主語は「わたし」で～」



研究主題に「伝える活動を通して、確かな人権感覚を身に付ける生徒の育成」を据え、生徒に寄り添い、組織的・計画的に実践研究に取り組んだ成果の発表でした。2年間にわたり、コミュニケーションによって正しく互いを理解できる人権感覚を磨いてきた生徒の顔には、「差別をしない、差別を許さない」という気概が感じられました。

また、講演会では、「差別される側に原因はまったくない。生徒に当事者意識を育てるように指導してほしい。」などのアドバイスがありました。



研究の成果がCDになって各学校に届いています。
力が入った素晴らしい内容になっていますので、ぜひご覧ください。

小学生芸術鑑賞事業

公演種目 劇団四季ファミリー・ミュージカル「人間になりたがった猫」
実施日 平成21年10月29日・30日、11月4日・5日・6日 9回公演
開催場所 新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)

劇団四季「こころの劇場」の鑑賞

この事業は、市立の小学校6年生に優れた舞台芸術に身近に触れる機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的として、劇団四季が全国各地の児童を招待するものです。

「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」などを訴え、舞台の感動をとおして子どもたちの情操教育に寄与したいという考えで、前年度同様、新潟市の市立小学校6年生が招待されました。



撮影：荒井健

鑑賞した6年生の感想の一部を紹介します。



撮影：荒井健

この2時間の演技にどのぐらいの時間を使ったのだろうと考えたら、役者さんたちを尊敬してしまいました。役者さん以外にも一略一大勢のスタッフがいるんだと思ったらさらに感動しました。感動する事の裏には、必ずたくさんの人があるんだなあ、思い知りました。

どんな人にも優しくすることや、友達の大切さが分かりました。人間っていいなあと思いました。

家で、見に行ったことを話したら、とてもうらやましがられました。お母さんも「これを見て、感動した子が、将来こういうお仕事をしようと思うと思うよ。」と言っていました。



笹山小学校

齋藤指導主事の
学校訪問日記

新潟市立笹山小学校は、小田淑和校長のもと「読みの力を高める指導の工夫～読みのスキルを習得させる指導を通して～」を研究主題に掲げ、着実な授業実践を積み重ねています。本年度の訪問をとおして、2年間の研修の成果を実感しました。

笹山小学校では、「読みの力」を以下のように分類し、「子どもが文学的な文章や説明的な文章を読み取る際に、基礎となったり、手掛かりとしたりする方法や技能」を「学習スキル」とし、「国語科学習スキル一覧表」を作成しています。

<文学的な文章>

物語の設定をとらえる力
人物の変容をとらえる力
主題をとらえる力

<説明的な文章>

文章構成をとらえる力
要点、要旨をとらえ、要約する力

具体的には、物語文の学習スキルとして、「登場人物、中心人物を見付けることができる」や「情景描写、行動描写、心情描写を手掛かりに、人物の心情を読み取ることができる」などがあり、説明文の学習スキルとして、「挿絵や図を手掛かりにして、説明されている事柄を叙述に結び付けて読むことができる」や「事象と考え、意見を区別して読むことができる」などがあります。

平成20年度研究において、国語科の「読むこと」のスキルを中心に、スキルを意図的・計画的に習得させるための有効な手立てを検証しています。その結果、21年度研究では具体的な手立てを次のように大きく分けています。

・まとめる、分ける。

(例：段落を分ける、出来事でまとめる、要点や要旨をまとめる。)

・比べる。

(例：段落相互に比べる、場面ごとに心情を比べる、人物や物の共通点や相違点を考える。)

・図に表す。

(例：叙述に即して図にする。心情曲線、人物関係図、文章構成図を書く。)

スキルを習得させようとする、その方法は、どうしても機械的になりがちです。この分類を見ると、子どもたちの思考を促す手立てを講じていることが分かります。

また、右のように3段階の学習過程を構想しています。

この3段階は、学習スキルに限らず、様々な知識・技能の習得・活用に通じるものです。「確実に習得する」「実際に使って良さを感じる」「自ら選択して使う場を設定する」という段階は、単に習得させてもなかなか活用しない現状に、大きな示唆を与えるものです。



<知る>段階

教師が選択した学習スキルを児童に知らせる段階

<使う>段階

教師の働き掛けにより、児童に使わせ、そのよさを実感させる段階

<一人で使う>段階

学習スキルを児童に選択させ、活用させる段階

昨年度は長谷川教諭の「わらぐつの中の神様」、今年度は佐久間教諭の「お手紙」の授業を参観しました。いずれも、子どもたちが楽しく、一生懸命に学習スキルを習得しようとしている授業でした。きちんと整理された全体研究計画に基づき着実な授業実践が展開されていました。

特別支援教育のページ

保育所保育指針に、「小学校との連携」という項目があります。幼稚園教育要領にも、「小学校との連携」と、同じ項目名があります。就学相談の一環として保育園・幼稚園を訪問してきましたが、「小学校との連携」に込めた熱い思いを、ひしひしと感じました。

保育指針の解説文にもあるように、「子どもの育ちを支え」「子どもの理解を助け」「子どもの可能性を受け渡していく」ために、保育園・幼稚園と小学校との連携は大切です。

エピソード1: 幼稚園担任の話

当園からA小学校に入学した子は、〇〇さん1人だけだったのですが、A小学校から参観の案内を園にいただきました。久しぶりに再会した〇〇さんは、明るく楽しそうな表情で勉強していて、安心しました。

学校の先生が、さりげなく、でも温かく配慮されていることもよく分かりました。小学校の先生方は、入学前には、お母さんのお話をじっくりと聞かれ、園にも「お母さんからお話を伺いました」と、お電話いただきました。お母さんも学校に感謝されていました。

エピソード2: 保育園長の話

ほら、園の横に、大きな公園があるでしょ。平日の昼間に、卒園した子がベンチに座っているのを見つくと、どうしたんだろう、何かあったのかな、学校の先生に連絡した方がよいのかなと、気になります。来春も子どもたちが卒園し、B小学校やC小学校に入学します。学校の先生方と、ぜひつながっていきたいんです。

エピソード3: 保育園の主任保育士の話

3月に小学校と園の連絡会を毎年行っているのですが、入学後は元気にやっているのかな、大丈夫かなと気になります。4月には学校から参観の案内をいただくのですが、子どもの在園時間と重なりますので、なかなか参観に行けません。なんとか職員をやりくりして参観できても、学校の先生も授業中ですから、お話をすることもできません。小学校の先生方が、お忙しいことも承知しておりますので、いくらでも私たちの方から学校へ出掛けます。4時でも5時でも何時でも構いません。

今年も「入学支援ファイル」をご活用ください

入学支援ファイルは、就学前後をつなぐ情報連携ツールです。

この中には、在籍園からの情報、主治医の助言、各種検査結果とその分析レポートなど、子どもの育ちを支える貴重で有効な支援情報が多数入っています。

保護者から入学支援ファイルの提示がありましたら、子どもの理解、そして「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成支援ツールとして、ぜひご活用ください。

入学支援ファイル	
～ 学校生活スタート支援ツール ～	
	
<small>この「入学支援ファイル」は、就学前の幼児教育・保育・療育・相談機関からの支援情報を学校に引継ぐためのツールです。 お子さんにとって必要と思われる教育的支援や配慮事項、希望な支援の手だてなどを、このファイルで関係者が共有し、入学先の学校に非伝えください。 入学は、お子さんにとって、環境が大きく変化するときです。「この子のために！」を合言葉に、お子さん・保護者、そして入学先の学校教職員をどうぞご支援ください。</small>	
お子さんのお名前	〇〇〇
生年月日、性別	年 月 日 生 (男・女)
保護者のお名前	
住 所	〒
電話番号	TEL
新潟市教育委員会 学校支援課 TEL 025-226-3267	

入学支援ファイル(表紙)